



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立大槻小学校
学校だより No.38
令和4年12月9日
文責：校長 酒井 健

◇教育相談、大変お世話になりました。

11月30日（水）～12月8日（木）の期間で行われた「教育相談」には、たくさんの保護者の皆様方にご来校いただき、本当にありがとうございました。「教育相談」の中で出された学校への要望等につきましても、学校内で共有しながら、一つ一つ解決していきたいと思っております。

大変ご多用の中、「教育相談」のためにお時間をいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



◇「やさしいって何だろう。」・・・「やさしいって何だと思いますか」

大槻小学校4年4組の桑名優空さんの作文が、「郡山市おもいやり作文コンクール」で入賞しました。タイトルは「やさしい人」です。全文は載せることができませんが、次のような作文でした。

やさしいって何だろう。

私は、おばあちゃんが車イスを使っていて、スーパーで車イスに乗っている人を見ると、「あーちゃんといっしょだ・・・」と、よく思います。「あーちゃん」は、私のおばあちゃんのあだ名です。おばあちゃんと言えず、小さなころ「あーちゃん」と言っていたので、そのまま家族がそれで良いとニッコリゆるしてくれ、「あーちゃん、あーちゃん」とつかっていました。 ～ 中略 ～

大好きなあーちゃんは、一人では自由に外に出ることができませんでした。車イスだからです。ママとお買い物に行くときでしか、スーパーにも行けず、スーパーでも細い売り場や人がこんでいる所では、自分がじゃまになると、行きませんでした。

私は、「やさしい」って何だろうと思うようになりました。自分の名前にも優しいの文字があり、じしょで調べてみたら、「思いやりがある。親切である」とあります。やさしいって、こまっている人に、手をかしてあげることじゃないかと思いました。

4年生で、バリアフリーについて学ぶ時間があって、目が見えない人の体けんやお年よりの不自由さを知ったとき、「私でも手だすけができることはあるんじゃないかなあ」と思いました。それは声かけです。「こまっていることはありませんか？」この一言です。あーちゃんのためにやっていたことを、他の人にもそっとやってあげられるのが、私の「やさしい」になるのではないのかなあと思います。私だけじゃなくて、みんなのできるのは、自由に買い物できる広い売り場だったり、道をゆずってあげたりすることです。かんきょうを変えなければと思いました。

小さなやさしい思いが、一人一人行動できたら、きっと天国のあーちゃんも「ありがとう」って笑ってくれると思います。私は、他の人に、そっと声と手をかしてあげられる人になります。

最後の、「私は、他の人に、そっと声と手をかしてあげられる人になります」という部分、すばらしいですね。桑名優空さんのやさしい気持ちを知って、あーちゃんも必ず、笑顔で喜んでいることでしょう。

校長のひとりごと

この写真は、昨日の夜、学校の中庭から撮影したものです。見事な、きれいな満月でした。昨日の満月が、実は、今年最後の満月でした。本当にくっきりと、鮮やかに輝いていました。2022年、最後の満月に感動しました。これからの時期、「今年最後の・・・」という言葉がよく聞かれますよね。一つ一つ、大切にしていきたいものです。

